

平成30年9月市議会 教育厚生委員会資料

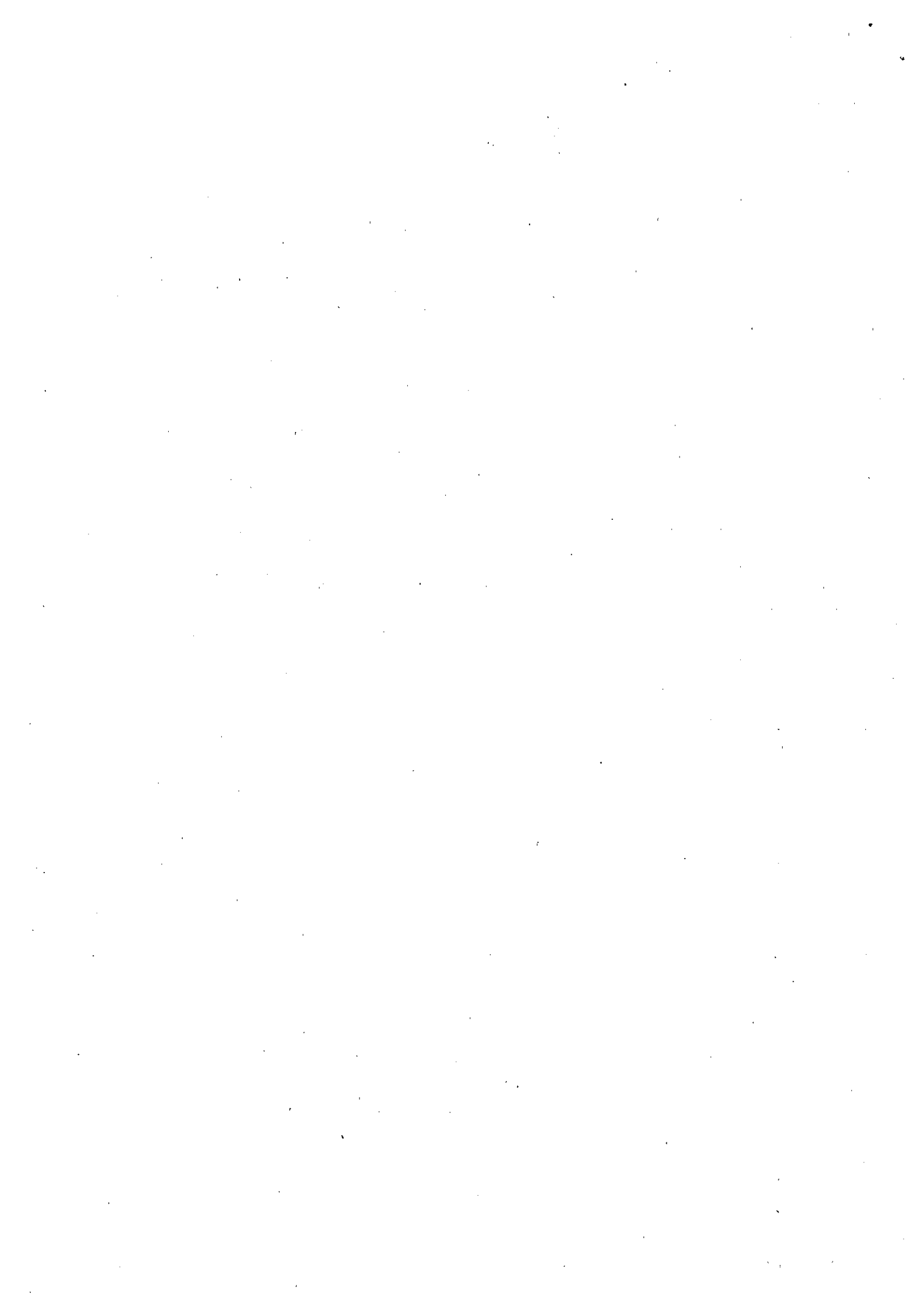
所管事項調査に関する資料

目次

- 1 感染症研究拠点整備に関する諸会議の開催状況等について…………… P 1～ 5

市 民 健 康 部

平 成 3 0 年 9 月



1 感染症研究拠点整備に関する諸会議の開催状況等について

前回の所管事項調査以降に開催された会議等については、次のとおり。

(1) 長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会

ア 目的・委員構成等

設置者	長崎大学
設置日	平成 28 年 4 月 1 日
設置目的	検討状況に関する情報の地域住民への提供を行うとともに、地域住民の安全・安心の確保等について協議。
委員構成	近隣連合自治会長・自治会長 (7 名) その他地域住民等 (公募委員) (6 名) 学識経験者・専門家 (7 名) 行政 (長崎県医療政策課長・長崎市地域保健課長) (2 名) 長崎大学 (学長特別補佐ほか) (5 名)

イ 直近の開催状況

回数	日 時	主 な 議 題
第 17 回	平成 30 年 6 月 29 日 (金) 17 時 30 分～20 時 00 分	① BSL-4 施設の設計概要について ② 前回会議での指摘事項について ③ 委員からの質問・意見への回答について
第 18 回	平成 30 年 7 月 20 日 (金) 17 時 30 分～20 時 00 分	① 委員からの質問・意見への回答について ② これまで実施したリスクアセスメント等に基づく対応について ③ BSL-4 施設の建設までの主な工程について
第 19 回	平成 30 年 8 月 10 日 (金) 17 時 30 分～20 時 00 分	① 委員からの質問・意見への回答について

ウ 主な意見等

回数	会議の内容
第17回	<p>【委員からの主な質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者侵入防止のセキュリティ、ウイルス漏れの可能性、火災時への対応、排水の処理方法などについて質問がなされた。 ・リスクアセスメントについて議論する時間をしっかり取ってほしいとの意見があった。 <p>《長崎大学の説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティについては建物周辺をフェンスで囲み、監視カメラを複数設置して監視する。実験室ごとに入室できる人を細かく決定し、入室する際はカードキーなど複数の鍵を用いる。 ・排水は熱と薬液で滅菌処理し、中和したあとに、排出できる環境基準以下にして最終的に下水道に流す。 ・リスクアセスメントの結果、実験者によるヒューマンエラーをどう乗り越えるかが大事なポイントの一つであり、チームでお互いに監視するなどの防止策を検討している。 ・施設の設置・運営にあたっては、感染症法の基準に則ったうえで、WHOやカナダの最新基準等を参考にして行う。
第18回	<p>【委員からの主な質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害・事故等の緊急時の対応策の検討について住民の安全安心のためにも丁寧に進めてほしい。 ・BSL4 施設について知らない市民もたくさんいるので広報ながさきで周知したり、説明会への参加を呼び掛けるなど市も協力してほしい。 ・住民の合意と理解と信頼の構築を国はどう判断したのか。市に対しても証明をしてほしいとずっと言っている。過半数の住民の合意を必ず取ってほしい。 <p>《長崎大学の説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に備えたマニュアル等について、警察・消防・県・市と協議をはじめており、緊急連絡網等の現実的なものを検討する。 ・地元説明会は、はじめて大学から説明を聞くという人もまだいるので、継続して開催し、理解を深めていきたい。 ・広報に関しては、市とも協力しながら情報発信に努めていきたい。

第 19 回	<p>【委員からの主な質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策や避難方法について具体的な議論がまだ進んでおらず、住民の合意と理解が得られているとはいえない中で、「長崎市中高層建築物等の建築紛争の予防に関する条例」に基づく隣接住民説明会を実施すべきでない。 ・住民の理解度を確かめるため、自治会長に対して住民の意見集約をお願いする声や、説明会後にアンケートをとるべきとの意見があった。 <p>《長崎大学の説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接住民説明会の開催をもって建設が決定するわけではない。地域の皆様の理解と信頼を得つつ進めるという姿勢で今後も進めて行きたい。 ・アンケートはそれぞれの時期や経緯の中で数が変わっていくものだと思うので適切な方法とは思っていない。理解を得られるよう繰り返し説明を続けていきたい。
--------	---

(2) 長崎大学高度安全実験施設整備に関する専門家会議

ア 目的・委員構成等

設置者	長崎大学
設置日	平成 29 年 5 月 9 日
設置目的	世界最高水準の安全性を確保する観点から、BSL4 施設の整備に関する専門的・技術的な事項の検討を行い、効率的・効果的な教育研究環境整備を実現するため、学長または拠点長に必要な助言を行う。
委員構成	公益財団法人公共政策調査会研究センター長 東京大学名誉教授 国際医療福祉大学塩谷病院中央検査部長/教授 ベルンハルト・ノホト熱帯医学研究所ウイルス学部長 国立感染症研究所客員研究員 国立感染症研究所バイオセーフティ管理室長 長崎大学名誉教授（2 名） 明治大学経営学部教授 医療法人社団水聖会メディカルスキニング中野院長 九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター教授 九州大学理事・副学長/システム情報科学研究院情報工学部門教授

イ 直近の開催状況

回数	日時	主な議題
第2回	平成30年7月29日(日) 13時00分～15時00分	① 長崎大学が設置を計画するBSL-4施設の設計等の状況について

ウ 主な意見等

回数	主な意見等
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が完成しても施設管理の専門技術をもつ人員の確保・養成がないと稼働できないので今の段階から検討が必要。人材の確保には一定の費用が見込まれるため、文部科学省の予算確保が必要。 ・監視カメラやセンサーなどのセキュリティ機器は開発が進んでおり、頻繁に規格が変わるため、更新することを想定しておく必要がある。 ・万一の事故に備え、人命優先などどのような判断システムを取るのか予め計画を作成することが必要。

(3) 隣接住民説明会

「長崎市中高層建築物等の建築紛争の予防に関する条例」に基づく隣接住民説明会が開催された。

日時	内容
平成30年8月21日(火) 18時00分～18時40分	<p>【出席者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の理解や合意が得られていない中で、建設ありきの説明をされても困る。 ・健康被害や環境影響について事前に市と協定を結ぶことで住民の安心につながる。 <p>《長崎大学の説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会の開催をもって工事着手というわけではなく、電波障害などについて早期に情報を伝えるという意図を踏まえて開催している。 ・万が一の事故等への対応については、大学が責任を持って対応するとともに、関係各署とも連携したい。

(4) 今後のスケジュール

実施時期	内容
平成30年8月20日(月) ～10月19日(金) 予定	建設予定地の樹木伐採
平成30年9月～11月頃	住民・団体向け説明会(20回程度を予定)
平成30年9月28日(金)	第20回地域連絡協議会
平成30年11月9日(金)	市民公開講座
平成30年11月中旬予定	第21回地域連絡協議会
平成30年12月中旬予定	第22回地域連絡協議会
平成30年12月21日(金)	建設着工予定(工事は2021年度夏頃まで) ※長崎大学の説明による最短のスケジュール